木造3階建の建築物に対する指導要綱

第1．趣旨

この要綱は、別に定めるもののほか、川崎市内における木造3階建の建築物の火災に際し居住者等の安全を確保するため、火災の早期発見対策、初期消火対策、避難安全対策及び延焼拡大遅延対策について必要な事項を定めるものとする。

第2．適用範囲

3階部分に居室を有する専用住宅、長屋、併用住宅（以下「住宅等」という。）とする。

第3．指導事項

1．火災の早期発見対策

住宅等の火気使用室、廊下及び階段には、簡易型火災警報器又は自動火災報知設備（住戸用自動火災報知設備を含む。）を設置すること。

2．初期消火対策

火気使用室には、簡易自動消火装置又は消火器を設置すること。

3．避難安全対策

3階には、避難器具等により二方向避難を確保すること。

4．延焼拡大遅延対策

- (1) 階段、ホームエレベーター等で3階まで吹き抜けになっている部分及びそれに通じる廊下等の間仕切壁は、厚さ12mm以上の石膏ボード等により区画するとともに、内装は不燃材料、準不燃材料又は難燃材料で仕上げる。
- (2) 前(1)の吹抜部分又はこれに通じる廊下等に面する開口部には、不燃材料、準不燃材料又は難燃材料で仕上げた戸を設ける。
- (3) 階段の下を押入等の収納場所に使用する場合には、階段裏部分を厚さ12mm以上の石膏ボード等により被覆すること。